

(件名) 総合体育館建設の陳情書

(陳情の趣旨)

県の総合体育館は、PFIでの整備のために入札を行い、全ての企業が辞退するという状況となり、オープンが遅れることとなったと思います。

そのような中、以前から建設をしてきた長崎や神戸、高松では新アリーナがオープンし、Bリーグの試合やフェス、ファッションショーが行われています。

鹿児島でも新アリーナの建設を早く行っていれば、入札も成功し、県外のアリーナのような催しが行われていたのではないかと考えます。

鹿児島で県外のアリーナが行っている催しで開かれた場合は、ドルフィンポートから新しい人の流れができ、その流れによる経済の発展も期待できます。

県では、令和7年度の当初予算に、総合体育館の整備費用を計上していないとのことでしたが、一刻でも早く整備することが、経済の発展のためにも意義のあるものではないと考えます。

又、県外のアリーナは、1万人以上の収容人数が多い印象があります。これはそれぞれの場所で見込まれる需要に応えるための収容人数ではないかと推察されますが、県が公表している鹿児島県新総合体育館需要予測調査業務報告書では、8千人規模が、アリーナコンサートについて、一定の需要が見込まれるとされています。又、スポーツ・コンベンションセンター基本構想では、プロスポーツ・コンサート等には8千席以上が必要とされています。

このようなことを踏まえると、県が示された固定席数の削減は、鹿児島県で見込まれる需要に満足にえられるのか疑問です。

このような理由から、次のことを陳情します。

項目

- 1 総合体育館の一刻も早い整備を求めます。
- 2 鹿児島県で行うことができるイベントに十分に対応できる観客席として、8千席以上の確保を求めます。